

自航式ケーブル敷設船

Cable Laying Vessel

自航式ケーブル敷設船を建造

今後、洋上風力発電所はより大規模に数多く建設されることとなり、確実かつスピーディーなケーブル敷設が必要となります。

東洋建設はこのような需要に対応すべく、国内最大のケーブル敷設船を建造することとしました。本船は2026年上期に完成いたします。

用 途

- ☑ 洋上風力発電のエクスポート／インターアレイケーブルの敷設
- ☑ 直流送電網など、大深度／長距離海底ケーブルの敷設
- ☑ 着床式・浮体式の基礎施工など、様々な外洋作業



主な仕様	総トン数約 19,000 t、推進出力約 13,000kw、DPS Class2
	船級 Class NK
	宿泊 90 名（全室個室、シャワー・トイレ完備）
船体主要寸法	全長 150m×幅 28m×深さ 12m 最大喫水 7.0m
ケーブルタンク	容量 9,000t（可搬式含む）
主 / 副クレーン	250t/100t吊級（動揺低減機能付）
その他設備	ヘリデッキ、4点係留装置（浅海域施工時）、2×ROVシステム、バッテリー蓄電システム